

**令和3年度東京都高齢者権利擁護推進事業  
「施設内リーダー職員研修(看護実務者研修)」募集要項**

**1 研修目的**

本研修は、介護施設等において、高齢者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援し、権利擁護に必要な援助等を行うために介護施設等の看護職に求められる実践的な知識・技術等の習得を目的とし実施します（講義及びグループワーク等）。また、地域包括ケアにおける高齢者の権利擁護のために必要な援助等を実践できる視点も加味して行います。

**2 研修実施機関**

公益財団法人東京都福祉保健財団 人材養成部福祉人材養成室（高齢者権利擁護支援センター）  
※東京都福祉保健局高齢社会対策部より委託を受けて実施します。

**3 対象者**

介護老人福祉施設（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護含む）または介護老人保健施設の現場において、実際に保健医療サービス及び福祉サービスを提供している看護職員。

※看護師及び准看護師以外の方は、受講できませんので御注意ください。

※平成20年度から令和2年度において本研修を受講され、「修了証書」が交付されている方は、お申込みできません。現在の所属施設とは異なる施設の所属時に受講し、修了証書が交付されている方は、対象になりません。

※インターネットを活用したオンライン研修となるため、オンライン講義の視聴環境は、推薦する事業者が責任をもって確保の上お申し込みください。なお「オンライン研修受講で推奨するシステム要件」については、「別紙2」を御参照ください。

**4 研修日程及び募集定員等**

3日間の日程で2コース実施します。

各コース、1日目及び3日目の研修時間は10時00分から16時30分（予定）です。

研修日程			定員	開催方法
A コース	1日目	令和3年11月11日（木曜日）	60名	Zoomによるオンライン（ライブ配信）
	2日目	1日目受講後～3日目受講まで*		講義動画配信
	3日目	令和3年12月8日（水曜日）		Zoomによるオンライン（ライブ配信）
B コース	1日目	令和3年11月24日（水曜日）	60名	Zoomによるオンライン（ライブ配信）
	2日目	1日目受講後～3日目受講まで*		講義動画配信
	3日目	令和3年12月17日（金曜日）		Zoomによるオンライン（ライブ配信）

\*講義動画の配信期間の詳細は、受講決定通知で案内予定

## 5 受講料

無料

## 6 申込人数

原則、1施設1名でお願いします。

(複数名お申込みの際は、定員超過時に人数調整をさせていただく場合があります。予め御了承の上、お申込みください)

## 7 「事前課題」及び「リフレクションシート」について

### ①「事前課題」について

下記「8 カリキュラム」を実施する上で、研修の実施前に課題を提出していただきます。

「自施設での権利擁護、高齢者虐待の防止への取組み」に関する内容を予定しております。課題の詳細は、受講決定通知にて御案内いたします。

### ②「リフレクションシート」について

2日目のカリキュラムは、講義動画配信 (YouTube 限定公開) により実施します。聴講後、科目で学んだことや気づき等について御記入いただき、3日目受講前の提出期日までに御提出いただきます。2日目の受講確認は、このリフレクションシートの提出により行います。

## 8 カリキュラム (予定) 各項目は、若干の変更となる場合があります。

### 【1日目】Zoomによるオンライン (ライブ配信)

Aコース：11月11日 (木曜日) Bコース：11月24日 (水曜日) 10時～16時30分

時間	形態	科目	内容等	講師 (敬称略)
90分	講義	【科目1】 高齢者の権利擁護 (高齢者虐待、成年後見制度活用 等)	・高齢者の権利擁護の概論 ・高齢者を取り巻く社会環境と高齢者虐待の実態 ・高齢者虐待の具体例 ・身体拘束の廃止に向けた取組み ・意思決定支援 等	(公財) 東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター
60分	演習	【科目2】 施設内での高齢者虐待防止、権利擁護の取組み	・「事前課題」の内容をグループ内で共有 ・受講者同士の質問をとおした気づき ・「困っていること」等に対して、権利擁護の視点をもってどのように向きあうか、取組むかを考えることをとおして、施設看護職に求められている役割を再認識する	〈看護指導者養成研修修了者〉
120分	講義	【科目3】 「生活の場」で提供される看護の特徴と急変時における権利擁護のあり方	・「生活の場」としての施設での看護職の位置づけ ・医師のいない場での看護職の役割 ・急変時の対応の基本 ・看取り看護の基本 ・医療行為の基本 ・権利擁護としての看護職の役割 等	〈看護指導者養成研修修了者〉

【2日目】講義動画配信（YouTube 限定公開による聴講）

各コース1日目終了後から3日目受講までの期間に各自聴講し、「リフレクションシート」を記入します。  
（期日までに提出。詳細は募集要項「7 「事前課題」及び「リフレクションシート」について」を参照）

時間	形態	科目	内容等	講師（敬称略）
75分	講義	【科目4】 介護保険制度と看護 職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険制度と地域包括ケアシステムの基本的な理解</li> <li>施設における看護職の位置づけ 等</li> </ul>	厚生労働省老健局高齢者支援課 主査 田中 志保
各 90分	講義	【科目5】 高齢者の心身の理解、認知症高齢者の理解と看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の心身の特徴とフィジカルアセスメント（気づきと観察）</li> <li>認知症の医学的・心理的理解</li> <li>認知症の人の生活のアセスメントと認知症ケア</li> <li>認知症の人の家族の理解と支援 等</li> </ul>	医療法人社団 慶成会 青梅慶友病院 看護部長代行 桑田 美代子
	講義	【科目6】 リスクマネジメントと権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> <li>権利擁護の観点からみた介護事故防止の考え方</li> <li>事故につながる不適切なケアと防止</li> <li>事故防止のための体制整備</li> <li>介護事故発生時の対応 等</li> </ul>	株式会社 フォーサイトコンサルティング 代表取締役社長 浅野 睦
	講義	【科目7】 生活の場での看取り ①～グリーンケア・セルフケア～	<ul style="list-style-type: none"> <li>看取り期における家族支援</li> <li>グリーンケア、セルフケアに関する基本的知識の習得</li> <li>デスカンファレンス 等</li> </ul>	がん研有明病院 腫瘍精神科 公認心理師/臨床心理士 厚坊 浩史

【3日目】Zoomによるオンライン（ライブ配信）

Aコース：12月8日（水曜日） Bコース：12月17日（金曜日） 10時～16時30分

時間割	形態	科目	内容等	講師（敬称略）
100分	講義 及び 情報 交換	【科目8】 権利擁護の視点から 考える感染症対策 （体制整備、発生時 の対応の基本）	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策として必要な体制整備、発生時の対応等の基本</li> <li>「生活の場」での感染症対策に関する事例をとおした、感染症対策における権利擁護実践への理解 等</li> </ul>	〈看護指導者養成研修修了者〉
90分	講義	【科目9】 生活の場での看取り ②～本人中心のチ ームケア推進に向 けて～	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人意思の確認の在り方（ACP, 意思決定支援等）</li> <li>看取り期における家族支援、多職種協働による看取りケア</li> <li>生体の死への変化</li> <li>環境を整えていく視点 等</li> </ul>	〈看護指導者養成研修修了者〉
100分	演習	【科目10】 権利擁護に必要な ケア、体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>3日間の総合演習</li> <li>自施設における高齢者虐待防止に向け、看護職として主体的に関わるために必要なことは何かを探る</li> <li>「事前課題」で課題把握された内容を、実務につなげるための整理と準備 等</li> </ul>	（公財）東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター

## 9 受講申込み方法

- (1) 別紙1「受講申込書」に必要事項を御記入の上、メール (ks-ns-moushikomi@fukushizaidan.jp) にてお申し込みください。  
「受講申込書」は、当財団ホームページ (<https://www.fukushizaidan.jp/105kenriyouto/>) からダウンロードできます。
- (2) お申込みメールの件名は「看護実務者研修申込」としてください。
- (3) 「受講申込書」記載上の留意事項
  - ① 同一内容で2コース (Aコース・Bコース) 実施いたします。
  - ② 各コース定員を超えると人数を調整する場合がありますので、コースを選択される際に、それぞれのコースの希望優先順位(第1希望及び第2希望等)を御記入ください。  
なお、受講決定の際に、希望順位どおりに決定できない場合がございますが、御了承ください。
  - ③ 「生年月日」につきましては、「修了証書」発行の際に必要となります。毎年、生年月日の記載間違いが発生しておりますので、必ず申込希望者に確認の上、御記入をお願いいたします。
  - ④ 受講決定後、受講申込書に記載のメールアドレスへ Zoom の招待メール等を送付予定です。

## 10 申込締切

令和3年9月14日 (火曜日) <必着>

### 1.1 修了証書について

受講修了者には、「修了証書」(東京都知事)を交付します。  
但し、「事前課題」及び「リフレクションシート」に提出かつ Zoom によるオンライン研修の出席時間 4/5 以上が交付要件となります。

### 1.2 個人情報の取扱いについて

受講者推薦及び申込書に記載された個人情報については、当財団個人情報の保護に関する要綱に基づき適正管理を行い、当該研修業務管理以外の目的で利用することはありません。

### 1.3 受講者の決定について (受講申込み結果について)

10月中旬(予定)に「受講申込みの結果」について通知いたします。受講決定者につきましては、「受講票」及び「受講の御案内」等を送付します。  
なお、申込者数が定員を上回った場合は、受講できない可能性があります。予め御了承ください。

### 1.4 その他

- (1) その他、詳細につきましては、受講決定時に送付する書類を御確認ください。
- (2) 受講者の方の受講環境やインターネット環境、機器 (パソコン等) の不具合等による研修受講への影響につきましては、当財団では責任を負いかねますので、予め御了承ください。
- (3) 研修前に、接続状況等を確認するための「テスト会議室」を開設予定です。詳細は、受講決定時にお知らせいたします。

#### 〈お問い合わせ先〉

公益財団法人東京都福祉保健財団 人材養成部福祉人材養成室 高齢者権利擁護支援センター (研修担当)  
電話番号: 03-3344-8628 FAX番号: 03-3344-8593  
研修申込専用メールアドレス: ks-ns-moushikomi@fukushizaidan.jp

## オンライン研修受講で推奨するシステム要件

オンライン研修は、「Zoom」を使用して実施します。具体的な受講手順については、講義開催前にオンライン視聴ガイドをお送りしますので、そちらをご覧ください。

オンライン講義の視聴環境は、推薦する事業者が責任をもって確保の上、お申込みください。当財団の責による事由以外で視聴できない場合は、いかなる理由でも修了は認められませんので、ご了承ください。

### 《オンライン講義受講で推奨するシステム要件》

#### 1 システム要件

##### 【必須環境】

- インターネット接続：有線または無線ブロードバンド（3Gまたは4G/LTE）
- スピーカーとマイク－内蔵、USBプラグイン、またはワイヤレス Bluetooth
- ウェブカメラまたはHD ウェブカメラ－内蔵またはUSBプラグイン
- 受講状況を画面で確認いたします。また、演習はグループワークディスカッションを行う予定ですので、受講の際には講義・演習ともカメラ・マイクをご用意ください。

#### 2 サポートされるオペレーティングシステム（OS）等

MacOS 10.7以降を搭載の Mac OS X

Windows 8（8.1）またはそれ以降

Ubuntu 12.04 またはそれ以降

Mint 17.1 またはそれ以降

Red Hat Enterprise Linux 6.4 またはそれ以降

他

- 受講の際には、受講者ごとにパソコンをご用意ください。タブレット・スマートフォンは処理能力が劣り研修の進行に支障が出ますので、お避け下さい。パソコン以外のデバイス（端末）で受講される場合は不具合のお問合せは対応できません。

#### 3 サポートされるブラウザ

- Windows：Firefox、Chrome、
- Mac：Safari5+、Firefox、Chrome
- Linux：Firefox、Chrome

##### 【補足】

- 研修中は、Google chrome を使用した操作方法で説明いたします。操作に不安がある方は、事前に Google chrome をダウンロード（無料）してご準備ください。
- Windows Edge を経由した視聴の場合、画像・音声の一部が制限される場合がありますので推奨しません。

#### 4 プロセッサおよび RAM の要件

最低		推奨
プロセッサ	シングルコア 1Ghz 以上	デュアルコア 2Ghz 以上 (i3/i5/i7 または AMD 相当)
R A M	該当なし	8Gb 以上

注意：Linux は、OpenGL 2.0 以上をサポートできるプロセッサまたはグラフィック  
スカード必要とします。

##### 【参考】CPU と RAM の確認方法

Windows の場合：スタートボタン (Windows マーク) > 設定 > システム  
> バージョン情報 で確認できます。

Mac の場合：アップルマーク > この Mac について > 概要 で確認できます。

#### 5 帯域幅・通信量の目安

オンライン研修で使用する帯域幅は、視聴者のネットワークが 3G、Wi-Fi、または有線  
環境に応じて自動的に調整されますが、通信環境により音声・画像の質が影響します。

できる限り有線 LAN を準備してください。

受講に推奨される帯域幅：

- 講義：50-150kbps (下り)
- 演習：20Mbps/20Mbps (上り/下り)

##### 【参考】通信速度の確認方法

研修を開催する時間帯に合わせて、通信環境の計測サイトで実計測してみてください。

(参考サイト)「インターネット回線の速度テスト Fast.com」 <https://fast.com/ja/>

#### 6 受講確認方法について

当日の受講確認は参加者名で確認しますので、受講の際に表示する参加者名は、受講番  
号及び氏名に設定して視聴してください。複数の受講者が同一日程で受講する場合、必  
ず 1 人 1 端末をご用意ください。受講者ごとのログインがないと受講確認ができません。受  
講番号は、受講決定通知でお知らせします。